

就活特集記事は毎週火曜日です。

10月1日(火)記事

19 **くらし 教育** 12版 **読売** 2013年(平成25年)10月1日(火曜日)

「英語力が生かせる仕事がたくさんあって航空会社の客室乗務員を目指しましたが、落ちました。ほかにもどんな業界なら、英語が使えるでしょうか?」。大学4年生の女子から受けた相談です。ビジネスのグローバル化が求められる今、英語が得意な人にとって就職は有利なはず。ところが彼女のように、英語力を生かし切れていない人が多いように感じます。

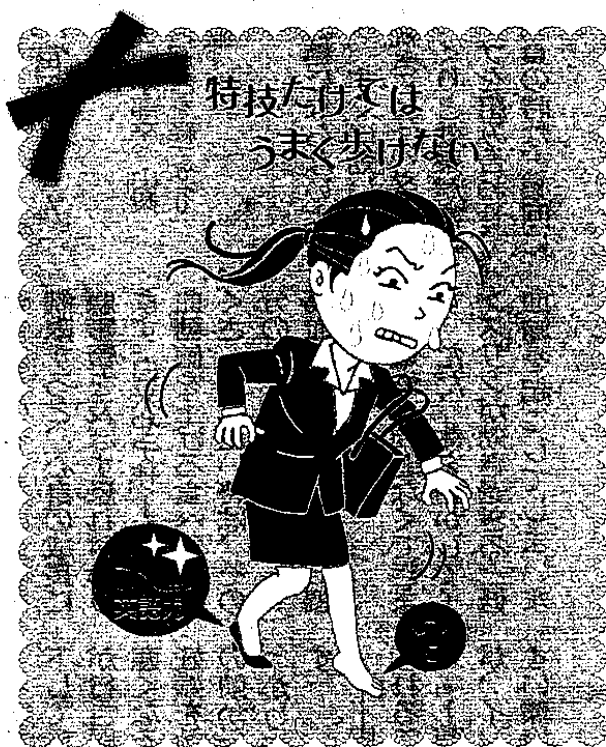
客室乗務員には英語力が必要ですが、それだけでは受かりません。接客業ですから対人能力が問われます。では、ほかにもどんな業界があるか。正直なところ、英語力を生かせる業界や企業はあまりに多く、絞りきれません。ただし、そうした企業に入社したとしても、すぐに英語を使えるとは限りません。

女子ナビ



7

英語を使い働く姿 想像



イラスト・藍原真由

昨春、英語が堪能なある女子学生が電機メーカーに入社しました。カナダに1年間の留学経験があり、将来は海外に関わる仕事を希望していますが、就活では、現地での実地調査の経験など活動的な面を強調し、「営業をやります」と売り込みました。内定は4社から得たそうです。新入社員を営業に配属することが多い企業であれば、彼

女のように営業にふさわしいと認められる人柄とそれを物語るエピソードが必要です。メーカーもあれば、商社もあります。仕事をする場所や相手国は、欧米それともアジアですか。扱うのはどんな商品ですか。英語を使って自分が働く姿を具体的にイメージして、応募先を考えてみてください。

(キャリアコンサルタント)

就活特集記事は毎週火曜日です。

10月8日(火) 記事

23 **くらし 教育** 12版 読売 2013年(平成25年)10月8日(火曜日)



仕事道

19

先日、ある地方都市で、公的就職支援機関の主催で開かれた4年生の未内定者向けの合同企業説明会で講演をしたのですが、その際、たいへん景気のいい話を聞きました。80社の合同説明会の参加枠に対し、100社から申し込みがあり、残り20社はキャンセル待ちに。主催者によると、昨年の同時期に開催した説明会を大きく上回る申し込み状況だったそうです。

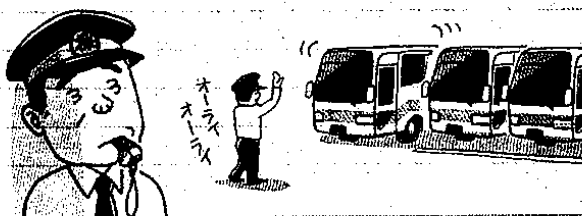
この時期に合同説明会に参加するのは中堅・中小企業ばかりと思う人もいるかもしれませんが、この日は地元の大手企業も含まれていました。それらの企業の悩みは、とにかく応募者が集まらないことでした。

ここ数年、新卒採用は回復傾向にあります。今年度の文部科学省の学校基本調査(速報値)に

未内定者 まず応募



秋の便が続々入線中なのに...



イラスト・藍原真由

よると、今春卒の大学生の就職率は前年度比で3.4ポイント改善し、正規雇用による就職者も1万8000人増えました。就職情報会社の月次調査を見ると、来春卒の内定率は今春卒以上に順調に推移しています。

実際、合同説明会に参加を希望する企業は増え、大学にも求人票が届き続けています。その中には、大手企業の追加募集も

あります。

しかし、気になるのは未内定者の動きです。企業の採用意欲は高いけれど、皆さん、なかなか動こうとしないのです。これまでの就活で傷つき、疲れているのかもしれませんが、チャンスは今です。応募しないことは内定は出ません。まずは応募しましょう。

(人材コンサルタント)

仕事道



20

12月1日の就職活動解禁が近づき、3年生から「何から手を着けたらいいですか?」と質問を受ける機会が増えました。自己分析、行きたい業界や企業の研究、適性検査対策など、やるべきことは色々ありますが、まずは大学のキャリアセンターなどを利用し、卒業生の進路について調べることをオススメします。

特に自分の学部、学科の先輩の進路は詳しく見ましよう。どの業界に強いのかなどの傾向がわかります。隠れた有力企業と出会うきっかけになるかもしれません。

中には毎年、同じ大学から必ず学生を採用している企業もあります。その場合、企業の担当者はその大学の学生像を、教職員はその企業のことをよく知っ

まず卒業生の進路調べる



イラスト・藍原真由

ているので、入社後のミスマッチも起こりにくいようです。先輩たちの就活体験談をまとめた冊子を作成し、学内で配布する大学も多くあります。これは実に参考になるものです。大学によっては、内定を得た学生のエントリーシート例、各社の説明会や選考の詳しい様子、自校の学生にリクレーターをつけた企業の一覧など、かなり生々

しい情報載せています。一度は手に取ってみましよう。また、就活を控えた3年生のために、卒業生との交流会や、就活を終えた先輩の体験談を聞く会を開く大学も多くあります。身近な先輩たちの話は、きっと参考になるはずです。まずは、自分の大学の就活事情に詳しくなましよう。(人材コンサルタント)

就活特集記事は毎週火曜日です。

10月29日(火)記事

23 **くらし 教育** 12版 読売 2013年(平成25年)10月29日(火曜日)

仕事道



21

ある私立大学のキャリアセン
ター職員から聞いた話です。

その大学では、学内で就職活
動対策の講座を頻繁に開いてい
ます。ところが、講座に参加す
ることで、逆に悩んでしまう学
生もいるのだとか。

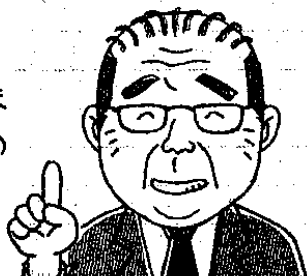
その傾向が特に強く見られる
のは、真面目でおとなしいタイ
プの学生です。「みんなで頑張
ろう!」というその場の雰囲気
についていけず、結果的に就活
に対する自信まで失ってしまう
そうです。

講師のアドバイスどおりには
できないと感じて、不安を募ら
せる学生もいます。例えば、「企
業の実像を知るには、OB訪問
が重要」と聞いて、「知らない
大人と話すのは、私には無理」
と途方に暮れてしまうケースな
どです。

就活と受験は違う



...で、いま
この会社の
社長だからね
ワタシ



イラスト・荻原真由

真面目な学生ほど、就活を受
験と同じような感覚で考えてい
るのかもしれない。
対策を立てて勉強すれば、成
績は上がり、試験に合格する。
勉強がはかどらなければ、合格
は難しくなる。受験ならば、そ
んな話も成り立ちます。しかし、
就活は受験とは違います。その
企業が求める人物像にマッチし
た学生かどうか。それが何より

重視されます。だから、どんな
に対策を立ててもダメな場合も
あるし、面接などで多少のミス
があっても内定に至ることはあ
ります。
面接で社長の名前を間違えて
も、その会社の商品名を言えな
くても、内定を得ることはあり
ます。肩の力を抜いて気楽に行
きましょう。

(人材コンサルタント)